

JIKU

#009 TANGO_KOKUBUNJI

宮津市

View of Sesshū

Work of
Seiichi Saito | Rhizomatiks Architecture

宮津市

ALTERNATIVE
KYOTO
もうひとつの京都

現実と空想のはざままで
Between Reality and Fantasy

光のアトリエ
Artspace of the Light
〈京都府北部展開事業〉

2020年11月20日[金] - 11月23日[月・祝] 日没後 - 21:00

丹後国分寺跡(丹後郷土資料館前) | 入場無料 | alternative-kyoto.jp/digital

主催 「海の京都」天橋立地区協議会、京都府 第23回文化庁メディア芸術祭協賛事業

SPONSORS Amanohashidate Area Association, Agency for Cultural Affairs / Kyoto Prefecture



令和2年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

Japan Cultural Expo in
Kyoto Prefecture Art Project
ALTERNATIVE KYOTO

alternative-kyoto.jp

Between Reality and Fantasy

DATE Nov. 20 (Fri) – Nov. 23 (Mon)

TIME Sunset – 9:00pm

VENUE Tango kokubunjiato

Admission Free



ALTERNATIVE KYOTO 2019 (JIKU #003 AMANOHASHIDATE)

【関連イベント】

10月16日(金)より、元伊勢龍神社及び天橋立公園内等にて国際的に活躍するアーティストによるデジタルアート作品を展示。

詳しくはwebサイトなどで随時発表していきます。
<https://alternative-kyoto.jp/digital/>

【ご来場の皆様へ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のために

1) マスク着用の上、互いの距離を1~2m程度あけて下さい。

2) 発熱等の症状がある方はご来場をお控え下さい。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、実施内容を変更する場合があります。ご了承ください。

問合せ先

天橋立駅観光案内所
〒626-0001 京都府宮津市字文珠314番地の2
天橋立ターミナルセンター内
TEL 0772-22-8030 FAX 0772-22-8710
(ご案内時間 AM9:00 – PM6:00)

INQUIRY

Amanohashidate Station Tourist
Information Center
314-2 Monju, Miyazu, Kyoto, JAPAN
TEL 0772-22-8030 FAX 0772-22-8710
(Office Hours: 9am – 6pm)

電車でのアクセス

京都	JR山陰本線+京都丹後鉄道 約2時間	丹後鉄道 天橋立駅
大阪	JR福知山線+京都丹後鉄道 約2時間20分	

※天橋立駅からの詳しいご利用方法は
「丹後海陸交通」へお問い合わせください

車でのアクセス

京都	京都縦貫道経由 約1時間15分	丹後郷土 資料館前
大阪	京都縦貫道経由 約1時間40分	



日本三景の一つ・天橋立エリアを、「現実と空想のはざま」のテーマの下、光や映像、サウンドを用いたデジタルアートによる幻想的な世界に演出します。11月20日(金)~23日(月・祝)は京都府立丹後郷土資料館前・丹後国分寺跡で、ライゾマティクス・アーキテクチャーのクリエイティブディレクターである齋藤精一の作品シリーズ「JIKU」によるスペシャル演出を行います。作品シリーズ「JIKU」は場所に隠された軸を探るプロジェクトで、光や音でその軸線を表現するサイトスペシフィックな作品です。#009の舞台は丹後国分寺跡、雪舟の作品、国宝・「天橋立図」から読み取れる、雪舟の頭の中の「視点」を軸として、光と音で表現します。

国宝・「天橋立図」について

描かれている様な天橋立エリア全体を見ることができない場所が無い為、何箇所からも観察したイメージを雪舟が頭の中で繋ぎ描かれたものと推測されています。丹後郷土資料館には約40年ぶりに里帰ります。



1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からNYで活動を開始。その後ArnellGroupにてクリエイティブとして活動し、2003年の越後妻有トリエンナーレでアーティストに選出されたのをきっかけに帰国。その後フリーランスのクリエイティブとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。2009年より国内外の広告賞にて多数受賞。現在、株式会社ライゾマティクス代表取締役、京都精華大学デザイン学科非常勤講師。2013年D&AD Digital Design部門審査員、2014年カンヌ国際広告賞Branded Content and Entertainment部門審査員。2015年ミラノエキスポ日本館シアターコンテンツディレクター、六本木アートナイト2015にてメディアアートディレクター。グッドデザイン賞2015-2017審査員。2018年グッドデザイン賞審査委員副委員長。2020年ドバイ万博日本館クリエイティブアドバイザー。

齋藤 精一

ライゾマティクス・
アーキテクチャー
ディレクター

Seiichi SAITO

Rhizomatiks
Architecture
Director

Born in Kanagawa in 1975, Mr. Saito began his career in New York in 2000 after graduating from Columbia University with a Master of Science degree in Advanced Architectural Design (MSAAD). Since then, he has been active in creative work at the Arnell Group, and returned to Japan upon being selected for the Echigo-Tsumari Art Triennial event. He produces works in the commercial art field which are three-dimensional and interactive while also being based on the firm grounding in logical thought that he cultivated through architecture. Mr. Saito has won numerous international awards from 2009. He currently serves as Director of Rhizomatiks Co., Ltd., while also lecturing part-time at the Department of Graphic Design in the Faculty of Kyoto Seika University. 2013 D&AD "Digital Design" Jury, 2014 Cannes LIONS "Branded Content and Entertainment" jury. Milan Expo Japan pavilion theatre space director, Media Art Director at Roppongi Art Night 2015, Good Design Award 2015-2017 Jury. Vice Chairman of Good Design Award 2018. Creative Adviser of 2020 Dubai Expo Japan pavilion.

関連イベント等、詳しくはwebサイトなどで随時発表 alternative-kyoto.jp/digital